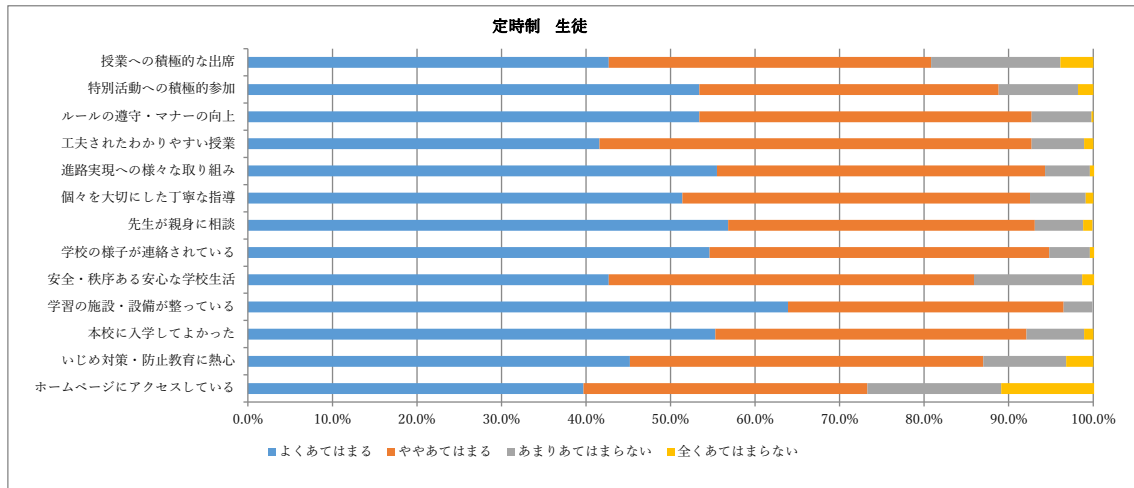


令和元年度 学校評価結果について

1 生徒アンケート（定時制・通信制）から

(1) 定時制では、「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、1項目を除いた全ての項目で80%以上という高い割合で安定している。特に、「安全・秩序ある安心な学校生活」の項目は、昨年度は肯定的評価が75.5%であったが、今年度は85.9%と、10ポイント以上増加している。また今年度唯一肯定的な評価が80%に届かない「ホームページにアクセス」の項目(73.3%)も、昨年度(63.6%)よりは10ポイント近く増加している。前年度の反省を踏まえた改善策が、着実に実を結んでいる結果と言えよう。

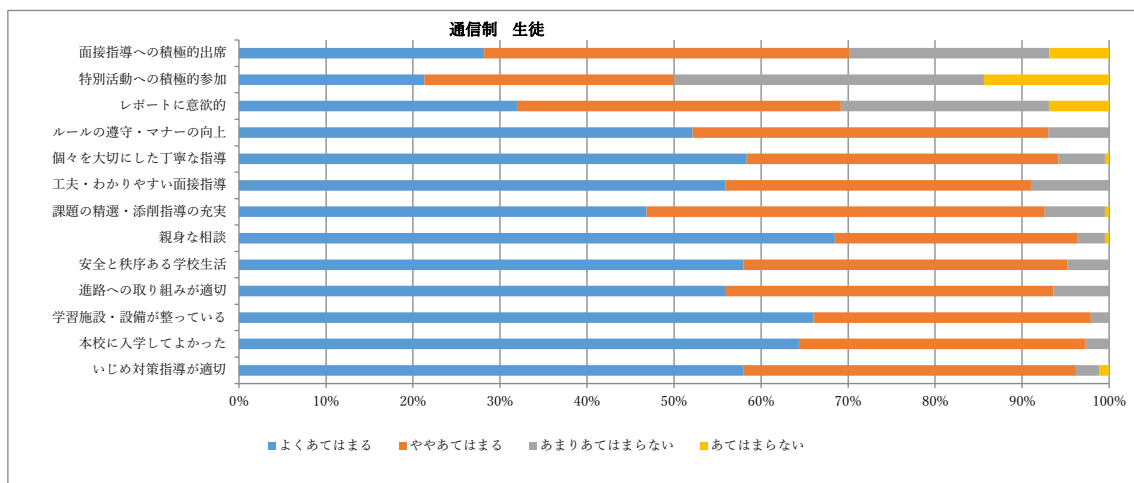
学習指導や設備に関わる項目の肯定的な評価はいずれも90%を超えており、生徒にとって良い環境が実現していると考えられる。また87%の生徒が「本校に入学して良かった」と評価しており、引き続き個を大切にしたい指導に努めていきたい。



(2) 通信制では、肯定的な評価が、3項目を除いた全ての項目で90%以上と非常に高い。特に、昨年度肯定的な評価が90%に届かなかった「課題の精選・添削指導の充実」(88.8%)と「ルールの遵守・マナーの向上」(88.4%)は、それぞれ92.5%、93.1%と増加しており、改善への取り組みの効果が現れている。

一方、肯定的な評価があまり高くない「特別活動への積極的参加」(50.0%)「レポートに意欲的」(69.1%)「面接指導への積極的出席」(70.2%)の各項目については、生徒自身の学校生活に対する意欲や関心の低さが表れていると思われる。ただこれらの項目も、前年度の数字がそれぞれ40.6%、65.7%、67.2%であることを考えると、少しずつ改善している傾向にあると言えよう。今後も引き続き生徒の意欲を引き出すための工夫・改善をしていく必要がある。

「本校に入学して良かった」の項目では肯定的な評価が97.4%と極めて高い数値を示しており、生徒にとって良い環境が実現していると考えられる。



2 保護者アンケート（定時制・通信制）から

ほぼ全ての項目において、肯定的な回答が80%を超えていることから、定時制・通信制の特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導には、おおむね理解が得られていると考えられる。特に、定時制・通信制とも、保護者との面談・連携などの項目において肯定的な回答が90%以上となっており、学校に対する信頼の高さがうかがえる。

これに対して、肯定的な回答が80%を下回っている項目は、定時制では「いじめ対策・防止教育が適切」（69.0%）と「丁寧な学習指導が行われている」（79.4%）である。どちらの項目も本校では組織的かつ適切に実施しているが、それが保護者側にうまく伝わっていない可能性がある。このことは、「わからない」という回答が前者の項目では22.8%、後者では12.4%と、他の項目に比べて高い数値であることからもうかがえる。今後は保護者に対しての説明の工夫・改善が課題である。

一方、通信制で肯定的な回答が80%を下回っている項目は「学校行事に参加したい」（62.2%）と「家庭で子供とよく話す」（73.2%）である。今後、前者については魅力的な学校行事を考えること、後者については家庭への働きかけを継続することなどを実践することで、改善していきたい。

なお保護者アンケートの回収率は、定時制が35.8%、通信制が27.8%である。これは生徒の回収率（定時制が78.2%、通信制が64.7%）と比べ著しく低い。保護者の意向や関心等を正確に把握するためにも、回収率を高めるための方策を考える必要がある。

総じて本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念との合致が認められる。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努めながら教育活動を展開していきたい。

